

アラビア窯は、1873年フィンランドのヘルシンキに設立されました。開窯当初は、スウェーデンのロールストランド窯の傘下にはありましたが、多くの芸術家たちを現場に登用して洗練されたデザインを次々に生み出し、1916年に独立しました。機能性とデザイン性を兼ね備えたテーブル・ウェアにより、現在もなお北欧を代表する陶器窯として知られています。



a



b



カイ・フランク「KILTA / TEEMA」シリーズ #6
1953-73 (1981年)

The Scandinavian Stylish Design

The Arabia Ware in Finland

ムーミンがつれてきた素敵な食器たち 北欧のスタイリッシュ・デザイナー—フィンランドのアラビア窯展

アラビア窯の特徴は、なんととっても世界的に知られる高いデザイン水準にあります。1932年にはアート・デパートメントが設立され、デザイナーや芸術家を招いて、彼らの芸術活動を奨励する一方、優れたプロダクト・デザインの提案を受けてきました。1945年に主任デザイナーとして迎えられたのは、北欧デザインの第一人者として知られるカイ・フランク(1911-89)で、「KILTA(キルタ)/TEEMA(ティーマ)」に代表される機能性とデザイン性を兼ね備えたテーブル・ウェアにより、アラビア窯の名を世界的なものにしました。現在でもフリーランスのデザイナーや芸術家と窯の技術者がチームを組み、個性を重要視した制作が行われています。

本展は、アラビア美術館のコレクションを中心に、スカンジナビア・デザインにおけるフィンランド陶磁器の軌跡や現代陶芸の一面をご紹介します。



c



d



e



f

- I 開窯初期のアラビア窯(1873-1910年代)
The Early Stages of Arabia Ware
- II アール・ヌーヴォー、アール・デコ、機能主義(1910-30年代)
The Art Nouveau, Art Deco and Functionalism
- III アラビア・アート・デパートメント(1932-1990年代)
The Arabia Art Department
- IV アラビア窯におけるフィンランド・デザイン(1950-1990年代)
—カイ・フランクとアラビア窯のデザイナーたち—
Finnish Design at Arabia Factory:
Kaj Franck and Other Designers
- V アラビア窯の現在—アーティストとプロ・アルテ(1990-2005)
The present: Artists and Pro Arte Series

a:「フィンニア農何学文シヤグ」1902-1923年
b:「カーリナ・アホデザイン「マヌカナ(めんどり)にわど用の銀入れ」1954-1960年
c:「カイ・フランクデザイン「ルミ」/「ロ(スノーボール)のブロンズタイア」1955-1960年
d:「トウレ・ウーヴリ」/「絵付花鳥文三耳花瓶」1910年
e:「ビル・エル・カイ・バイ・アイネン」/「鳥とフルーツの皿」1965年
f:「カイ・フランク&アイニム」/「オナデザイン「モデルBカップ&ソーサー」1950年代-1960年代
※写真は全てアラビア美術館蔵

オープニングイベント ギャラリーセミナー

講師:島崎信氏

武蔵野美術大学名誉教授、
日本フィンランドデザイン協会理事長

日時:8月17日(水)午後1:00~午後2:00

場所:ミウラート・ヴィレツジ

参加費:展覧会入場料金のみ

※ 参加希望の方は、電話でお申し込みください。
※ 定員になり次第終了とさせていただきます。



駐車場: 30台 臨時駐車場(三浦工業(株)福角駐車場)がご利用になります。
※ 駐車台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関等をご利用ください。
場 所: ◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ伊予鉄バス 北条行き「内宮バス停」下車 徒歩約10分
◆ 松山空港より車で約30分

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)
〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL 089-978-6838 FAX 089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>